

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

No.13

2024.3

- FOCUS
北見工業大学シーズ・ニーズ
マッチングシンポジウムを開催
- 地域貢献活動
- 技術広報
- 共同研究
- スタッフ活動



FOCUS

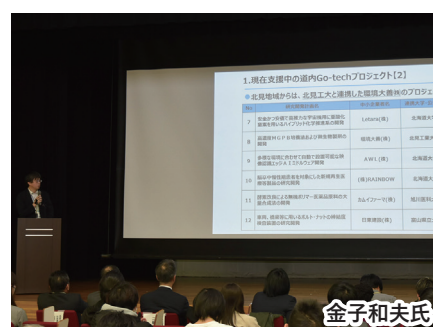
北見工業大学シーズ・ニーズマッチングシンポジウムを開催

北見工業大学は、12月14日(木)、同大学講堂において「北見工業大学シーズ・ニーズマッチングシンポジウム2023」を開催しました。地域の企業や自治体職員の方など約100名の参加がありました。本シンポジウムを主催する社会連携推進センターのセンター長藤井享より開会挨拶の後、北見工業大学が掲げる8つの重点研究分野(エネルギー、地球環境、寒冷地域防災、冬季スポーツ、工農連携、医工連携、先端材料、機械知能情報)を進める研究の紹介を行いました。出展した全26テーマは、研究者からのショートプレゼンテーションにより紹介しました。その後、それぞれのブースで参加者と研究者が交流するポスターセッションの時間を設け、質問・相談などが活発に行われました。

また、小樽商科大学、帯広畜産大学の産学官連携を推進するための取組についてもポスターの展示を行い、各大学の関係者より紹介がなされました。



藤井センター長



金子和夫氏

基調講演では、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)よりスタートアップ・技術移転推進部研究支援グループ副調査役の二階堂知己氏に講演をいただきました。大学と地域・産業が協力して新たな価値創造に取り組む重要性や大学と地域の取り組み事例などについてお話いただきました。講演の中で、現在JSTが推進している技術移転支援事業や大学発新産業創出基金事業等に関する紹介もありました。大学等の研究成果を起業化し社会実装に結びつけていくための支援体制について、わかりやすく説明をいただきました。聴講された方々からは、JSTの支援制度を深く理解できた、今後活用していきたいとの声もありました。また、経済産業省北海道経済産業局産業技術革新課長補佐の金子和夫氏からは研究開発支援に係る施策についてお話をいただきました。中小企業が大学等と行う研究開発の支援(Go-tech事業)や大手企業と大学・中小企業等とのマッチング支援(オープンイノベーションチャレンジピッチ)などの施策に関して、北海道内で進められている具体的な連携事例等を交えながら紹介くださいました。これから企業との共同研究を目指す若手研究者へのサポート体制についても詳細な説明があり、研究者からもぜひ応募を検討したいとの声がありました。

本シンポジウムを通して、北見工業大学に多様な研究シーズがあることを知っていただくとともに、地域の企業や自治体と研究者との繋がりを生む非常に有意義な機会となりました。

【基調講演】

「大学の価値を地域で活用しよう!~JSTの技術移転支援事業~」

二階堂 知己氏

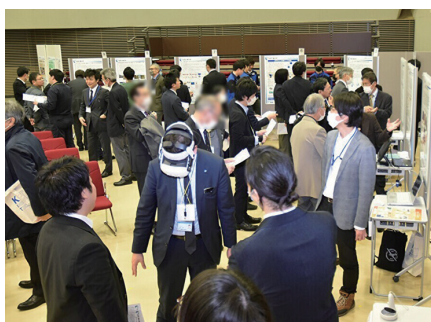
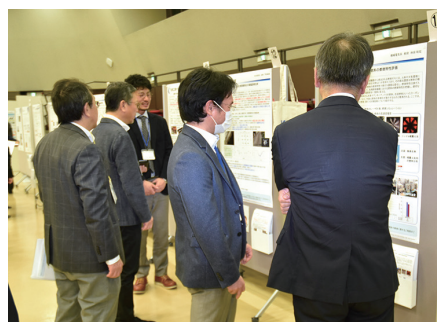
国立研究開発法人科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部 研究支援グループ 副調査役



二階堂知己氏

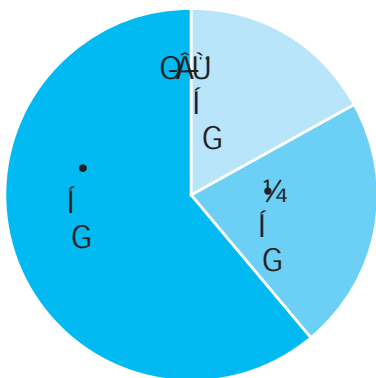
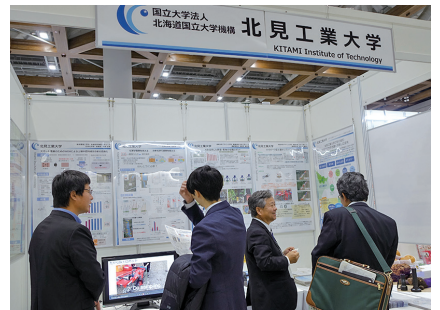
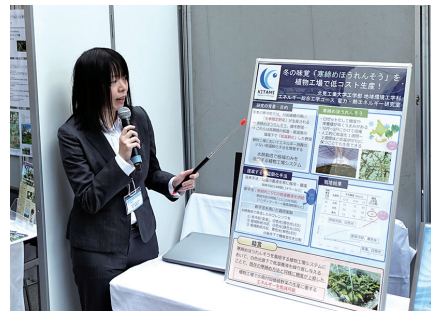
ポスターセッション：北見工業大学の研究シーズ26テーマ

所 属	役 職 ・ 氏 名	出 展 テ ー マ
情報通信系	准教授・酒井 大輔	xR(VR・MR)とAIを組み合わせた地域活性化技術
機械電気系	教 授・森田 慎一	大きな熱量を高速で貯蔵して利用する研究
応用化学系	教 授・大津 直史	レーザー誘起ブレイクダウン分光分析法による土壌成分の迅速分析
応用化学系	教 授・佐藤 利次	キノコ発酵によるダイズの成分変化、機能性解析
情報通信系	教 授・升井 洋志	ARマーカを用いた通過判定および寸法計測手法の開発
社会環境系	准教授・富山 和也	人を中心とした道路インフラ評価システム
生産加工システム研究室	修士2年・葦島 雪人	木工品における製造工程のデジタル化
社会環境系	教 授・中村 大	積雪寒冷地特有の地盤災害「凍上現象」の土・岩石を網羅した対策
地面凍結・緑化学研究室	修士2年・鍛冶元 雅史	ジオシンセティックス材料「植生シート」を用いたのり面の侵食対策
地域国際系	准教授・ウ アテイ	生産効率化に向けた人材力の個人差低減方法に関する研究
機械電気系	教 授・林田 和宏	燃焼・排ガス計測による燃料の燃焼特性評価
社会環境系	助 教・門田 峰典	振動計測による目視困難部位の損傷診断技術
社会環境系	助 教・門田 峰典	鋼桁の桁端部材群を考慮した耐荷性能の把握
応用化学系	教 授・小西 正朗	実験自動化およびAIを活用した微生物培養の最適化
応用化学系	教 授・小西 正朗	手間がかからない微細藻類培養方法の開発
応用化学系	教 授・小西 正朗	微生物のマッチングによる光合成微生物培養の改良
機械電気系	准教授・兼清 泰正	汗中の乳酸に応答して図柄が変化するスポーツウェアの開発
応用化学系	准教授・浪越 毅	ポリマーコーティング種子による秋播き栽培方法の確立
機械電気系	准教授・坂上 寛敏	地域循環型オホーツクメタンを用いるカーボンフリーな水素生成
社会環境系	准教授・木田 真人	クラスレートハイドレートの利活用
基礎教育系	准教授・中村 文彦	複雑ネットワーク解析によるゲノム解析の試み
地盤補強・ジオシンセティックス研究室	修士2年・鈴木 佑基	道内広葉樹の資源管理と効率的活用を目指したDX推進 -道産広葉樹の価値ある活用へ-
地盤補強・ジオシンセティックス研究室	修士1年・三浦 優輝	広葉樹資源情報共有アプリケーション構築に向けた樹種自動判定 -道産広葉樹の価値ある活用へ-
情報通信系	助 教・タン イ	非一様サンプリングによるスキップ戦略の拡散モデルによる水中画像補正
社会環境系	准教授・齊藤 剛彦	大型載荷装置を備えた低温室での各種載荷実験
情報通信系	准教授・杉坂 純一郎	空気中の飛沫・微粒子の高感度計測システム



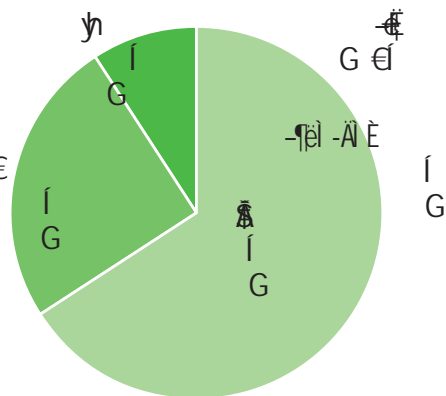


7/20	
10/3	
10/5	
10/26	
11/9	

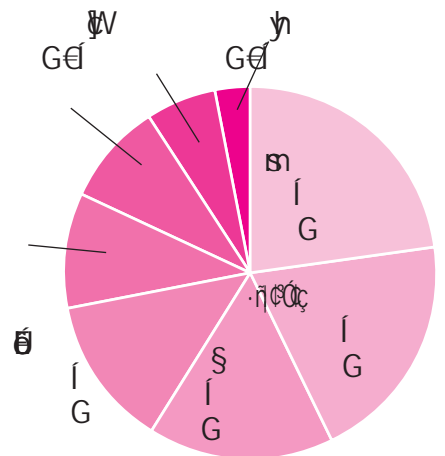


④

④



④



④

④

with



スタッフ活動 (2023.12. ~ 2024.3.)

北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動		スタッフ	日程
[北見市] 北見市中小企業振興審議会	会議	内島	12月1日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター知的財産部門会議	会議	三枝	12月12日
[CRC] 北見工業大学シーズ・ニーズマッチングシンポジウム	イベント	藤井・内島 三枝・片岡	12月14日
[CRC] 社会連携推進センター令和5年度推進協力員合同会議	会議	藤井・内島 片岡	12月14日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議	会議	藤井・内島	12月15日
[国] JST産学コーディネーター育成プログラム委員会	会議	内島	12月19日
[その他] ²⁾ 「地域×知×共創」チャレンジフィールド北海道シンポジウム⑥	イベント	三枝	12月20日
[北見市] 北見ビジネス総合サポートセンター連携機関会議	会議	藤井	1月9日
[3大学] ²⁾ オープンイノベーションセンター管理運営部門会議	会議	三枝	1月11日
[実行委] 札幌モビリティショー2024	イベント	内島・三枝 片岡	1月19~21日
[同友会] ³⁾ 第4回オホーツク道研実行委員会	会議	片岡	1月22日
[北見市] 北見ビジネス総合サポートセンター連携機関会議	会議	藤井	2月5日
[その他] ⁴⁾ 令和5年度 林業イノベーション現場実装シンポジウム	イベント	三枝	2月8.9日
[陸別町] 陸別町社会連携推進協議会	会議	-	2月15日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター知的財産部門会議	会議	三枝	2月19日
[同友会] ³⁾ 第5回オホーツク道研実行委員会	会議	片岡	2月20日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター管理運営部門会議	会議	三枝	2月22日
[美幌町] 令和5年度 第3回美幌町定例連携探索会議	会議	藤井・内島 片岡	2月26日
[その他] ⁵⁾ 北洋銀行 知財勉強会	イベント	三枝・片岡	2月29日
[国] JST産学コーディネーター育成プログラム委員会	会議	内島	3月1日
[北見市] 北見ビジネス総合サポートセンター連携機関会議	会議	藤井	3月4日
[国] JST「バイオものづくり技術」新技術説明会	会議	片岡	3月7日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター管理運営部門会議	会議	三枝	3月7日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議	会議	藤井・内島	3月13日
[他大学] 山口大学知的財産教育研究共同利用拠点運営委員会	会議	藤井	3月15日
[国] JST目利き人材育成成果報告会	イベント	内島	3月15日
[振興局] ⁶⁾ 北見工業大学・オホーツク総合振興局 包括連携協定締結記念講演会	イベント	三枝	3月15日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター管理運営部門会議	会議	三枝	3月21日
[美幌町] 地域共生カーボンリサイクルシンポジウム	イベント	内島・片岡	3月25日
[3大学] ¹⁾ 令和5年度 オープンイノベーションセンター全体会議	会議	藤井	3月27日

[]内は主な主催機関 1)小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学 2)公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団) 3)一般社団法人北海道中小企業家同友会オホーツク支部 4)林野庁、一般社団法人 林業機械化協会 5)株式会社北洋銀行 6)オホーツク総合振興局



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2
TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター (CRC, Center for Regional Community)

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

 <https://www.crc.kitami-it.ac.jp/>
 chiiki@desk.kitami-it.ac.jp

